

『**風と光**』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、
地域教育の「**横の連携**」と「**縦の接続**」
を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。1年に8回程度の発行を予定しています。

【 カラー版は、富士・東部教育事務所のHP からご覧いただけます。

URL : <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/index.html> 】

富士・東部教育事務所地域教育支援スタッフでは、

(1) 家庭、学校、地域の連携による地域ぐるみの教育活動の活性化を図る。

(2) 地域における体験活動・ボランティア活動の環境を整備し、地域教育力の活性化を図る。

を目標に掲げ、地域の教育力を高めるためのコーディネーターとして、家庭・学校・地域社会がお互いに連携を深め、青少年の健全育成のため活動しております。

～ 重要なお知らせ ～

「生涯学習ボランティアバンク」事業の

「やまなしまなびネットワークシステム」事業への移行

山梨県教育委員会では、誰もが身近で気軽に学習できるように、様々な分野において多くの経験や知識・技術をお持ちの方に生涯学習の指導者となっていただくため、平成6年度から「生涯学習ボランティアバンク」を設置し運営してまいりました。この間、県民生活の様々なニーズに応え、大きな成果を上げることができました。これもひとえに皆様方の御支援の賜と深く感謝いたします。

この度、「生涯学習ボランティアバンク」による指導者紹介事業は、生涯学習の一層の振興のため、本年度をもって県企画県民部生涯学習文化課の所管する「やまなしまなびネットワークシステム(以下「まなびネット」)」に移行し、問い合わせ先も生涯学習文化課とすることになりました。

つきましては、「生涯学習ボランティアバンク」を御利用の皆様方におかれましては、来年度以降、引き続き「まなびネット『できる人材情報』」(生涯学習文化課所管)の御利用をお願い致します。

本事業発足以来これまで賜りました皆様方の御理解と御協力にあらためて御礼申し上げますとともに、「まなびネット」への変わらぬ御支援をお願い申し上げます。

「やまなしまなびネット」ホームページアドレス
<http://www.manabi.pref.yamanashi.jp/>

「やまなしまなびネット」に関する問合せ先
生涯学習文化課 生涯学習企画担当
TEL 055-223-1319 FAX 055-223-1322

第2回 南都留教育相談ネットワーク会議

～ より効果的な青少年支援対策に資する活動 ～

12月10日(水)、第2回南都留教育相談ネットワーク会議(会長:藤森雅恵 南都留児童相談所所長)が南都留合同庁舎大会議室で行われました。

当日は会員等24名が参加。今回は、富士吉田市立教育研修所自立支援指導員笠井邦彦氏と、上野原市教育委員会教育相談室担当土屋すみじ氏による事例報告および研究協議が行われました。

事例報告では、発表者から支援事業や教育相談の組織や活動内容のほか、具体的な事例を取り上げ、教育相談の現状と課題についての説明がありました。研究協議では、不登校の児童生徒への対応方法や、子どもたちが安心できる環境づくりについて議論が交わされました。



第 14 回 小林雅英コーチ野球教室

～ Dream Come True 「夢の実現」～

北都留地域教育推進連絡協議会「地域教育・明日の風」(会長:石井由己雄大月市長)では、12月13日(土)に大月市営野球場において、大月市出身の元大リーガーで10月から千葉ロッテマリーンズの1軍投手コーチに就任した小林雅英氏による野球教室を開催しました。今年で14回目を迎えた同教室には、大月市や上野原市等の少年野球チームや中学生チーム(14チーム131名)と、保護者や関係者ら合わせて約240名が参加。

午前中は、学年ごとに分かれてキャッチボールを行ったり、小林コーチのノックを受けたりしました。また、低学年ではミニゲームをしながら野球の楽しさを体験しました。練習の途中には小林コーチのサイン入りのボールや帽子のプレゼントがあり、コーチか



らのサプライズに子どもたちはみな大喜び。午後は、各チームのピッチャーを対象にしたピッチング指導が行われ、選手たちは投球フォームを一つ一つ確認していました。小林コーチからは「自分の夢に向かって努力を続けることが大切である」と参加した子どもたちに話していただきました。憧れである小林コーチから直接指導を受けたり、声をかけられたことは、参加した子どもたちにとってこの上ない喜びであり、また自信に繋がったようです。

会場内の特設展示コーナーでは、アテネオリンピックの銅メダルや、侍ジャパン(全日本チーム)・ロッテ・大リーグインディアンス時代のユニフォームや帽子等が展示され、昼休みには大勢で賑わいました。



生徒の健全育成をめざす 中・高連携連絡会議

～都留市・西桂町の中高のつながり～

南都留地域教育推進連絡協議会(会長:小笠原幸夫都留第二中学校長)では、12月16日(火)に「生徒の健全育成をめざす中・高連携連絡会議」を南都留合同庁舎で開催しました。

この会は、都留市内および西桂町内の中学校4校と高等学校3校が「地域の実態に合った中学教育と高校教育の効果的な連携を探ると共に、一層の理解と推進を図り具体的な取り組みを検討する」ことを目的に平成13年度からはじまり、今年で14回目を数えます。



当日は都留市・西桂町の中学校・高校の教頭・教務主任・生徒指導主事ら19名と教育事務所から3名が参加。各校の現状および現在抱えている問題点や課題、取り組みについて情報交換を行いました。特に携帯電話・スマートフォンや「ライン」の使用についての指導や、学力や目的意識を高めるための指導、保護者への対応等について、校種を越えて活発な意見交換が行われました。

南都留特別支援教育研究会学習会

～一人一人に合った支援のために!!～



南都留特別支援教育研究会(会長:高村始吉田西小学校長)では、11月27日(木)にふじざくら支援学校から12名の講師をお招きして第2回学習会を開催。今回はカテゴリーごとに分かれて参加者の普段の取り組みや課題、今後の指導に向けてのグループ別学習会を実施しました。

学習会のグループ構成は、「日常生活の指導について」「国語」「体育・運動・動作について」「気持ちのコントロールについて」「人との関わりについて」「進路(進学・就労に向けた学習)について」の6つのグループ。「交流学級の児童とうまくつきあえない」「集中する時間を増やすにはどうすればよいか」などの参加者からの質問に対して、講師の先生方は「好きなことや得意なことを見極めること」「視覚的なことで集中力を高める」「自己肯定感や、気持ちよく終わった感をもたせること」等のアドバイスを送っていました。

参加者の一人は「普段は問題や悩みを自分一人で抱えてしまうことも多いが、同じような悩みを抱えている先生が多いことを知った。この学習会を通して今後どのように接していけばいいのか、方向性が見えてきた。」と感想を述べていました。



楽しい食育教室

～山中湖中1年生が和食づくりに挑戦～

12月3日(水)、山中湖中学校(小俣寛校長)では1年生38名を対象とした『楽しい食育教室』が開催されました。

今回の食育教室のテーマは、世界無形文化遺産に登録されて注目を集めている「和食」。講師であるリゾートホテル・エクシブ山中湖の野川副料理長から、和食についての説明をいただいたり、直接調理の実演を見せていただいたりした後、早速、生徒たちは各グループに分かれて調理を開始。もうすぐお正月!...という時節柄、挑戦するメニューは「お雑煮」と「田作り」。和食の命「出汁」をお醤油や塩などで味を調えながら、調理していきました。

出来上がった「お雑煮」や「田作り」を口にした生徒たちからは、「うちのお雑煮とは全然違う味だ～!」「ダシがとっても効いてる!」「クルミ入りのごまめが香ばしい!」など、和食ならではの繊細な味と季節感を堪能していました。

富士北稜高等学校「在宅訪問活動」

～交流を深め、社会福祉に貢献～

富士北稜高等学校(宮下仁校長)では、11月28日(金)に今年度2回目の在宅訪問活動を実施しました。

この取り組みは、同校開校以来11年続く行事で、富士吉田市社会福祉協議会と連携して行われています。勤労体験を通して、生徒たちの思いやりの心を育み、社会福祉に貢献できる自覚を高めることを目的としています。

当日は、1～3年生の希望者43名が参加し、市内11軒の一人暮らしや要介護の高齢者のお宅を訪問。窓ふきや玄関・台所・浴室等の掃除作業を行いました。また、作業終了後には高齢者の方と学校生活の様子や、お年寄りが日頃感じていること、悩み・不安について語り合いの時間をもちました。

担当の先生は、「開校当初より改善を重ね実施している。地域の方々からも高い評価を得ており、訪問を希望されるお年寄りも年々増加している。合わせて生徒の参加希望者も増え、積極的に活動しているが、地元地域の現状を知り、理解することにもつながる活動なので今後も継続していきたい。」と述べていました。



上野原高等学校「総合学科発表会」

～日頃の学習成果を発表～



上野原高等学校(田口尚弥校長)では、12月20日(土)に第4回総合学科発表会を同校体育館で開催しました。

当日は、教育関係者、地元や近隣の中学生とその保護者、同校生徒ら約560名が出席。代表の生徒により同校の総合学科の説明および生徒の学校内外での様々な学習活動が発表されました。

【発表】1年次：「ドリームスピーチ」

将来の夢や目標は何か。その夢を追求し、実現するためには、今、自分にとって必要なことは何かを発表。

【発表】2年次：「インターンシップ」「課題学習」

消防署での体験を通して、職業の意識を高めると共に、挨拶や人としてのマナーの大切さを学んだことを発表。
話し上手になるにはどうすればよいか。人の話を聞く心理やプレゼンの工夫、アロンソンの不貞の法則について発表。

【発表】3年次：「課題研究 上野原市への提言」

「防災」「安全」の観点から、災害心理・病院改革・災害対策について研究成果と上野原市への提言を発表。

【パネルディスカッション】

「防災」「安全」について、上野原市役所防災担当の方と生徒たちによる討論会。

【全校合唱】

上野原高校校歌を混声合唱で披露。心に染み渡りました。

山梨県子育て支援リーダー・ステップアップ講座

～平成26年度の全講座を終了しました～

10月24日(金)に行われた10回目の講座を最後に、今年度の子育て支援リーダー・ステップアップ講座の全課程が修了しました。閉校式では、各受講者に修了証書が手渡されました。

修了証書を手にした方々からは、「様々な方向から子育て、子どものこと、親のことを考える機会になった。現場に帰って、今回学習したことを生かしていきたい。」「何よりも、様々な子育て支援の現場で働かれているプロの先輩方の生の声を聞きながら学べたことが勉強になった。新しい知識や発見が多く、楽しく学べたことで自然と学ぶ意欲につながっていった。」等の感想が多く寄せられました。



～平成27年度受講者募集のお知らせ～

山梨県では、子育て支援者の資質向上を図り、地域での子育てや家庭教育の支援活動を積極的に推進できる人材を養成しています。年間10回、家庭教育・子育てにおける喫緊の課題について、講義と実技演習を主体とした研修講座を行います。

本事業は3年計画で行われており、来年度は3年目の最後の年になります。興味のある方は、各市町村の子育て支援担当もしくは各市町村教育委員会の担当にお問い合わせください。

- 講座開催数 年間10回
- 場 所 山梨県立大学
- 募集人数 40名程度
- 対 象 者 子育て支援関係者、保育士、民生委員、児童委員 等

科学の楽しさを知ろう!!

～環境の大切さをからだ全体を使って学びます～

12月13日(土)に富士学苑高等学校において、第4回富士北麓科学塾が開催されました。

同塾は「富士の裾野の子どもたちに科学の楽しさを知ってもらおう」と平成23年に富士北麓地域の小中高の理科教員が公立・私立の枠を超えて結成。これまでに「ノーベル物理学賞受賞者・小柴昌俊先生の講演会」「電子顕微鏡や光学顕微鏡による観察会」「風力発電や太陽・燃料電池の実験」などを年1回のペースで開催してきました。

今年も、富士北麓地域の小学生から高校生までの児童生徒80人が参加。「科学の楽しさを体験して、環境を学ぼう!」と題して、「地球上の人口増加の問題」「生態系の仕組みやバランス」「トンボが生息できる環境づくり」などの「環境問題」について、参加者が互いに学び合いました。最後に「自分への手紙」を書き、数ヶ月後に自分の手元に届いた手紙で、今回の学習を振り返ることになっています。



【 カラー版は、富士・東部教育事務所のHPからご覧いただけます。】

URL : <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/index.html> 】

地域の皆様のご支援ご協力を得ながら、実りある実践となるよう努めて参ります。各事業についてご意見ご要望がありましたら、地域教育支援スタッフまでご連絡ください。

連絡先 富士・東部教育事務所 地域教育支援スタッフ 0554-45-7841